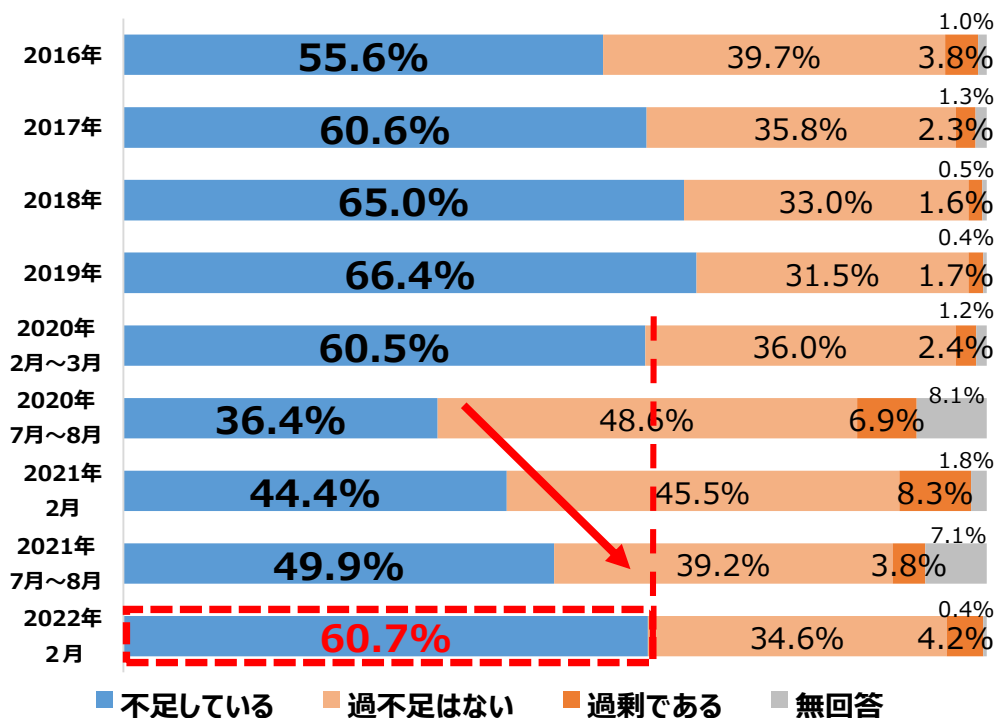


中小企業における就職氷河期世代 の採用に係る取組について

2022年5月12日
日本商工会議所

- 人手が「不足している」と回答した企業は**60.7%**となり、前年同時期（2021年2月）の調査と比べて16.3ポイント増加。コロナ感染拡大直前の水準（2020年2～3月、60.5%）を上回り、**人手不足の状況が戻ってきている**。
- 中小企業の2021年度の採用実績の動向については、「**募集し、採用できた**」と回答した企業は**49.7%**。そのうちの**44.2%**は**予定した人数を確保できていない**。また、全体の約1割は「**募集したが全く採用できなかった**」と回答。

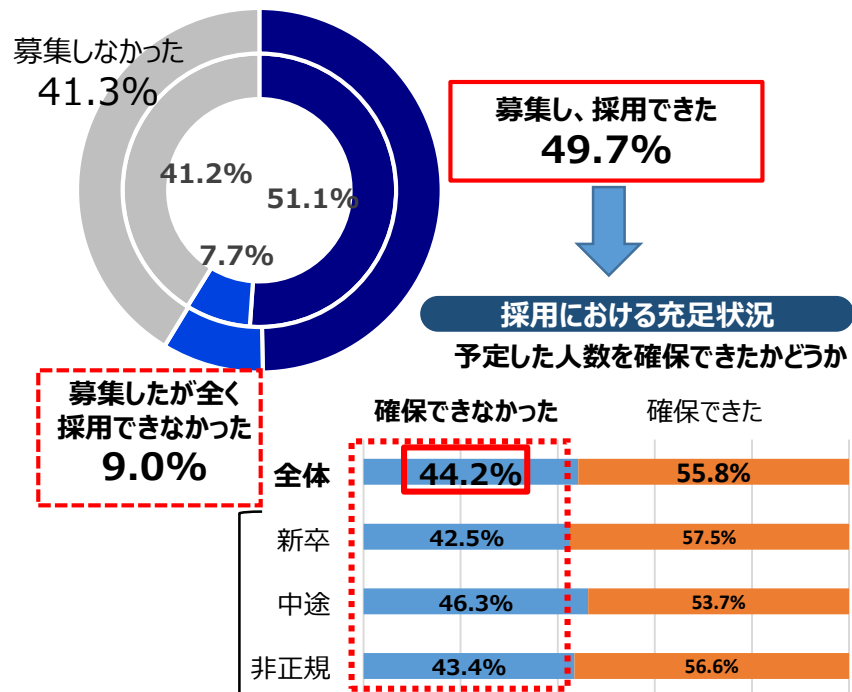
人手不足の状況



※出所：日本・東京工会議所「人手不足の状況に関する調査（2022年3月）」

2021年度の採用実績の動向

※円グラフの外側が2022年4月調査、内側が2021年4月調査

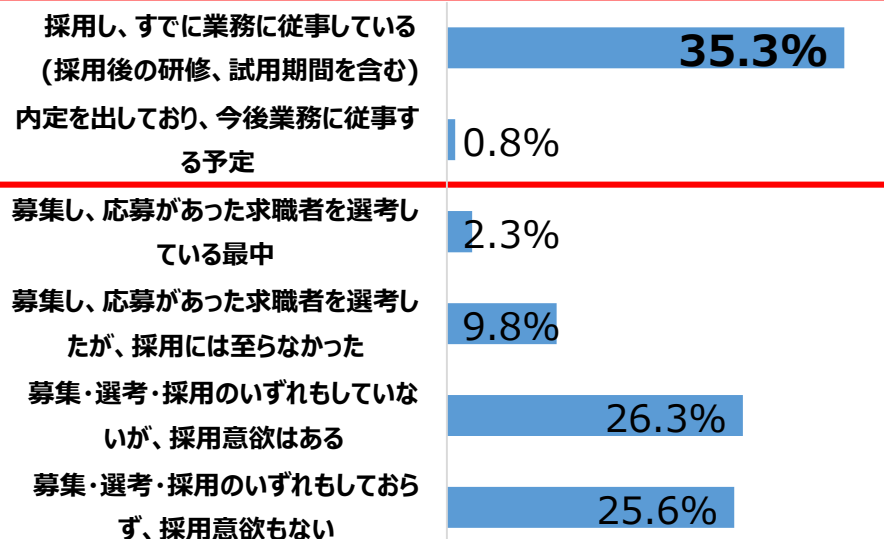


※出所：日本商工会議所「LOBO調査（2022年4月）」

- 東京商工会議所の「企業と学校との就職情報交換会（2022年4月27日開催）」に参加した企業129社に対し、就職氷河期世代の採用状況に関するアンケートを行ったところ、2019年4月以降の3年間で、**35.3%が正社員として採用**している。
- 今後の就職氷河期世代の採用意向については、**約半数の企業が「経験やスキルを重視し、適正があれば採用を検討したい」（51.2%）**と回答し、「人柄や意欲を重視し、適性があれば採用を検討したい」（27.9%）を合計すると**約8割の企業が採用を検討すると回答**。

「就職氷河期世代」の採用状況

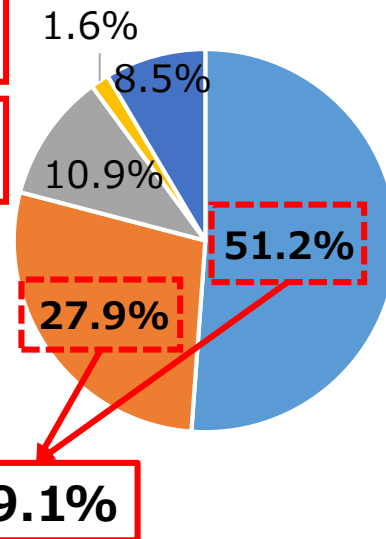
2019年4月以降の3年間で、「就職氷河期世代」の求職者を、正社員として募集・選考・採用した状況について *複数回答可



今後の「就職氷河期世代」の採用意向

今後、「就職氷河期世代」の求職者を、正社員として採用する意向について

- 経験やスキルを重視し、適正があれば採用を検討したい
- 人柄や意欲を重視し、適正があれば採用を検討したい
- 新卒採用以外は検討していない
- 就職氷河期世代の年齢層もしくは、前職が非正規雇用または無職の求職者からは採用しない
- その他



※「就職氷河期世代」：以下の両方に該当する求職者

- ①就職氷河期世代（年齢が概ね30代後半から40代）
- ②前職が非正規雇用または無職

※出所：東京商工会議所「会員企業と学校法人との就職情報交換会 参加企業アンケート（2022年4月）」

